

産婦人科（生殖医療）

1. 概要

当院の表看板でもあるタイムラプス胚培養も11年目となり、多胎防止を含む質の高い生殖医療を今年も達成できた。矢吹医師が、日本不妊カウンセリング学会で当院5年連続となる優秀賞を受賞した。2017年も、肥満（過体重）・痩せ（低体重）への着目を更に高め、食生活や運動を中心としたからだ作りが妊娠率の向上や流産率の低下にとどまらず、安全な出産や生涯の健康への道しるべであるという指導を徹底した。また、腔内に常在菌（善玉菌）が存在せず病原菌が存在する環境や、精液中に病原菌が存在する環境が、治療不成功を繰り返す原因ではないかと数年前から注目してきたが、同様のデータが国内の一部の施設からも学会報告されるようになり、着眼点が正しかったことが明らかになってきた。このような難治性の患者さんが熱心に繰り返し治療を行い見かけ上の数値を低く抑えている傾向は続いているが、粘り強い治療の果てに成功する症例が続出して、2017年もスタッフが技術の高さと方向性の正しさを確認できる機会が多かった。

2017年は、豊橋市民病院発でファミリープランニングという、何人の子どもの望み、最後の子どもを何歳で出産するかの目標を患者さんが明確にし、そこから逆算して実際の治療プランを立てる生殖医療の新しい考え方を我が国全体に向けて提唱する記念すべき年にもなった。医療にとどまらず社会全体でこの言葉や考え方が数年後に定着していくことを望む。

（部長 安藤 寿夫）

2. 活動報告

（1）生殖補助医療

2017年	刺激周期数	体外受精数	うち、顕微授精	新鮮胚移植	妊娠	融解胚移植	妊娠
1月	19	15	11	7	1	11	2
2月	18	17	10	6	1	8	2
3月	23	18	11	9	1	11	3
4月	17	10	6	4	1	4	0
5月	21	18	10	5	2	10	2
6月	29	26	12	10	1	9	3
7月	19	17	11	8	2	5	1
8月	22	19	14	10	2	15	6
9月	21	16	8	6	3	9	1
10月	25	19	10	10	2	8	1
11月	22	20	13	10	2	7	2
12月	15	13	8	5	2	6	4
計	251	208	124	90	20	103	27
妊娠率					20.0%		26.2%

単胚移植率100%。多胎は1例（単胚移植後）。異所性妊娠1例。

生殖医療の成績データは、症例背景等医療機関により異なる要素が多いことから、他の医療機関との単純な比較をすべきではないと付記することが、米国では義務付けられている。

(2) 不妊症妊娠例（カッコ内は多胎妊娠例）

区分	件数(件)
体外受精－新鮮胚移植	20 (1)
融解胚移植	27 (0)
排卵誘発	8 (0)
人工授精	4 (0)
習慣流産	0 (0)
タイミング法・その他	12 (0)
計（重複例を除く）	63 (1)

生殖医療の成績データは、症例背景等医療機関により異なる要素が多いことから、他の医療機関との単純な比較をすべきではないと付記することが、米国では義務付けられている。

学会発表（医局）

<産婦人科（生殖医療）>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	Limited benefit of electing to freeze all embryos for later transfer in the time-lapse confirmed single embryo transfer program	筆頭演者	Hisao Ando	第69回日本産科婦人科学会学術講演会	広島市	2017/4/15	
2	卵巣予備能低下子宮内膜症性不妊症における高用量HMG投与は成熟卵確保に有効である	筆頭演者	矢吹 淳司	第69回日本産科婦人科学会学術講演会	広島市	2017/4/15	
3	不妊治療対象患者の体重指導について～当院のデータを用いて～	筆頭演者	藤田 啓	第16回日本不妊カウンセリング学会学術集会	東京都	2017/6/2	
4	AMH低値症例のARTにおける年齢群別の継続治療経過の検討	筆頭演者	國島 温志	第58日本卵子学会学術集会	宜野湾市	2017/6/3	S
5	採卵数1個の場合の予後は？－20年間の成績より－	筆頭演者	安藤 寿夫	第39回中部生殖医学会学術集会	名古屋市	2017/6/24	
6	受精数1個の場合の予後は？－20年間の成績より－	筆頭演者	尾瀬 武志	第39回中部生殖医学会学術集会	名古屋市	2017/6/24	S
7	新鮮胚実施のための新規指標の提案ならびに条件別検討	筆頭演者	安藤 寿夫	第35回日本受精着床学会総会・学術講演会	米子市	2017/7/20	
8	当院で施行したARTにおける低AMH症例の検討	筆頭演者	國島 温志	第35回日本受精着床学会総会・学術講演会	米子市	2017/7/20	S
9	当院20年間の成績からみた少数採卵症例の予後について	筆頭演者	尾瀬 武志	第20回日本IVF学会学術集会	仙台市	2017/9/30	S
10	第一胚分割異常に着目した定点長期モニタリング報告1A:背景因子・調節卵巣刺激法について	筆頭演者	嶋谷 拓真	第62回日本生殖医学会学術講演会・総会	下関市	2017/11/16	S
11	第一胚分割異常に着目した定点長期モニタリング報告1B:媒精法・エンブリオロジーについて	筆頭演者	尾瀬 武志	第62回日本生殖医学会学術講演会・総会	下関市	2017/11/16	S
12	第一胚分割異常に着目した定点長期モニタリング報告1C:高率異常分割を反復した同一症例での変遷を中心に	筆頭演者	安藤 寿夫	第62回日本生殖医学会学術講演会・総会	下関市	2017/11/16	
13	同一採卵周期に由来し異なる胚移植周期を経て出生した同胞の出生体重ならびに関連する生殖産産期の母児経過についての検討	筆頭演者	植草 良輔	第62回日本生殖医学会学術講演会・総会	下関市	2017/11/16	S
14	A set of novel decision-making indices to freeze all embryos or to continue fresh embryo transfers upon each condition in the individualized controlled ovarian stimulation cycles	筆頭演者	Hisao Ando	The 25th World Congress on Controversies in Obstetrics, Gynecology & Infertility(COGI)	Vienna	2017/12/1	

研究会発表（医局）

<産婦人科（生殖医療）>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	受精卵1個の採卵周期の予後についてー当院の20年間の成績よりー	筆頭演者	尾瀬 武志	第16回生殖バイオロジ－シンポジウム	東京都	2017/9/3	S

座長・司会（医局）

<産婦人科（生殖医療）>

No.	座長・司会	演題名	座長名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	座長	子宮腺筋症を中心とした子宮内膜症の治療成績 子宮腺筋症を中心としたホルモン療法 一般（non-ART）病院における子宮内膜症（含子宮腺筋症）の薬物療法の現状	安藤 寿夫	第五回三河地区産婦人科フォーラム	豊橋市	2017/5/20	
2	座長	望ましい凍結融解・胚移植法～理想的な着床条件とは何か、黄体ホルモン補充を中心として～	安藤 寿夫	第62回日本生殖医学会学術講演会・総会	下関市	2017/11/16	

講演（医局）

<産婦人科（生殖医療）>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	新鮮胚移植はやめるべきではない	安藤 寿夫	第13回東海ARTカンファレンス	名古屋市	2017/2/26	
2	全受精卵タイムラプス since2007	安藤 寿夫	ソフィアARTグループ研究会	町田市	2017/11/11	
3	周産期異常の謎を読み解き、 幸多き凍結融解・胚移植法へ	安藤 寿夫	第62回日本生殖医学会学術講演会・総会	下関市	2017/11/16	

論文・著書 (医局)

<産婦人科（生殖医療）>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名	医師 区分
1	多嚢胞性卵巣症候群	筆頭著者	安藤 寿夫	今日の治療指針2017年度版. 2017, p.1244-p.1245.	
2	体外受精へのステップアップのタイミングと治療機関の連携	筆頭著者	安藤 寿夫	産婦の実際. 2017; 66: 1143-1150.	
3	生殖医療の必修知識2017	共同著者	安藤 寿夫	分担執筆	
4	個別化調節卵巣刺激における子宮内膜症の影響とアンチミュリアンホルモン (AMH)	筆頭著者	矢吹 淳司	産婦の実際. 2017; 66: 95-103.	
5	不妊治療患者の体重指導について 当院のデータを用いて	筆頭著者	藤田 啓	日不妊カウンセリング会誌. 2017; 16: 159-163.	
6	アンチミュリアンホルモン (AMH) 低値症例における年齢階層別 ART 継続成績	筆頭著者	國島 温志	日本IVF会誌. 2017; 20: 8-12.	S